

市民活動状況  
(3月末日現在)

市内NPO法人数	32 団体
当センター登録団体数	137 団体
来館者数	1,265人
印刷機利用枚数	27,336枚

## ひびき



発行枚数 650枚 メール配信 100団体

発行人 指定管理者NPO法人茨城県南生活者ネット 龍ヶ崎市市民活動センター長 島村宏之

龍ヶ崎市市民活動センターは社会貢献活動を行う団体を支援するための施設です。  
 会議スペース・作業スペース・印刷機・紙折り機・パソコン・多目的室等(1階)や  
 大会議室・小会議室・パソコン室・和室・工作室(2階)・陶芸室(1階外倉庫隣り)がご利用いただけます。  
 開館時間 = 午前9時～午後7時(日曜祝日は午後5時まで)2階各室は夜間も(午後10時まで)利用可能です。  
 休館日 = 月曜日および年末年始、特別に定める日  
 〒301-0004 龍ヶ崎市馴馬町2445 TEL 0297-63-0030 / FAX 0297-63-0571  
 E-mail katsudou@r-shimin.sakura.ne.jp URL https://ryugasaki-shiminkatsudo.net



## 市民団体活動紹介シリーズ No.31「龍ヶ崎落語同好会」

目指せ！市民活動日本一

「笑いは百薬の長」「笑う門に福来る」等、笑顔はすべての人を幸せにします。世界で戦争が絶えない時代ですが、せめて身近な所では笑っていたいものです。また高齢者が増えている世の中ですが、家に閉じこもってばかりいないでお出かけしましょう。落語を聞いて笑いましょう。「暮らしに笑顔を届けたい」と考え、出演していただく好文亭梅朝さんと相談して「たつのご寄席」を平成29年6月から始めました。昨年からは年間の開催数を年4回として、この4月で20回を迎えました。現在は落語2席と音楽の組み合わせで皆さんに楽しんでもらっています。なお私たちの同好会は落語家をお招きして寄席を開催するお世話係です。同好会メンバーが落語をすることはありませんので念のため。



## ※ 寄席のご案内

- ・場所 市民活動センター
- ・開催日時 年4回、詳しくは「りゅうほう」や「エリート情報」でお知らせします。
- ・木戸銭 500円
- ・来場は予約となります。(文責 龍ヶ崎落語同好会 伊藤靖匡会長)



## 市民活動サポート補助金・2次募集の受付が始まります

市の地域づくり推進課で実施している「市民活動サポート補助金」は、市民自らが考え、行動する活発な市民活動を促進するため、社会に貢献しようと自主的に活動する市民活動団体に経費の一部を補助することで、市民活動の活性化を支援する制度です。

補助金のメニューは、団体の初期を支援する「スタートダッシュ支援(設立補助)」と団体の拡充期に行う事業を支援する「ジャンプアップ支援(事業補助)」の2種類からなり、令和6年6月3日(月)から「ジャンプアップ支援(事業補助)」の2次募集の申請受付が始まるとのことです。

予算枠には限りがあり、先着順。予算の範囲に達し次第、受付終了のようです。今年度、事業の実施を考えている団体は、当補助金制度の活用をご検討されてはいかがでしょうか。

なお、企画段階の事前相談や申請書類の作成サポートは、当市民活動センターでも受け付けていますので、お気軽にお問い合わせください。

詳細については、市公式HPをご覧ください。 ※『サポート補助金申請の手引き』を活動センターにて配布中です！

## 令和6年度のポイント対象活動を募集します(二次募集)



まちづくりポイント制度を活用して、市民活動への参加者を増やしませんか？

対象活動	住民自治組織・中核的な地域コミュニティ・NPO法人・ボランティア団体が主催する活動 (令和6年7月～令和7年3月に実施予定の活動) ※住民自治組織・中核的な地域コミュニティは、環境美化・防犯・防災活動に限ります。
募集期間	令和6年5月13日(月)～6月10日(月)
交付決定	審査を経て6月中に決定
申請方法	所定の申請用紙(地域づくり推進課、市民活動センター、市民交流プラザ、各コミュニティセンターで募集要項とあわせて配布。市公式HPからも入手可)に必要事項を記入し、地域づくり推進課へ提出してください。 FAX・メールでの提出も可。 FAX: 0297-60-1584 メールアドレス: community@city.ryugasaki.lg.jp
問い合わせ	地域づくり推進課 市民活動推進グループ 内線435・438

※市民活動センター登録団体の皆さんへ、個別に申請書等の送付はしておりません。  
必要な方は市民活動センター等で申請書類をお受け取りください。

## 3月31日(日)「クラウドファンディング経験者と活用中検討中の方々との交流会」報告

講師として(株)クラウドファンディングデザイン代表取締役の渡邊ゆりかさん、活動事例紹介者としてコロツケクラブ龍ヶ崎会長の飯島進さん、市役所商工観光課課長補佐の小室敦さんを迎え、興味深いお話をたくさん頂きました。

渡邊講師によると、クラウドファンディングの活用が増える中、アイデアひとつで支援の獲得や課題の解決につながった多様な事例が生まれているとのことで、「こんなアイデアを使ってできるんだ」と刺激を受けました。クラウドファンディングを事業の一環に利用した経験者の飯島さんは「(資金不足で)できない」と思わず、「できる」ことをインターネット上で模索し実現していくことがクラウドファンディングのメリットであることを強調されました。

行政もクラウドファンディングを後押しするシステムを整えているとのことで、龍ヶ崎市では市内における産業振興(起業創業・商品開発・担い手育成・経済活性化イベントなど)に関する取り組みをクラウドファンディングを活用して行った場合、「まちづくりクラウドファンディング応援事業」として上限30万円の支援を行っているそうです。市内の高校生たちが考案したトレーディングカードのキャラクターの商品化に取り組んだ事例が商工観光課の小室さんから紹介されました。



今回の参加者は10名で、人生の先輩世代が多かった一方で、小さいお子さんを連れた若いお母さんの姿もありました。具体的な目標があり手ごかりを求めに来た方もおられ、後半の交流会では、フリートークで和やかに意見交換をしました。クラウドファンディング交流会は、専門家と経験者、行政に直に話を聞くことが出来る貴重な機会です。どうぞ次回もお楽しみに。

## 『市民交流サロン』オープンしました！

4月9日、市民活動センター1階事務室内に予約なしでいつでもご利用できるスペース『市民交流サロン』がオープンしました。テーブル2脚、イス8脚あります。打合せや交流の場として使ってください。湯沸かしポットを常備してありますので、持ち込みで飲み物OKです。



龍ヶ崎短歌会

何度でも散歩に出たくなるような春のひざしにミモザは揺れる  
レジを待つ老いの籠にささやかな食材のほかビール一缶

糸賀 浩子  
石渡 静夫